

中国海洋大学 2019 年硕士研究生招生考试试题

科目代码： 883 科目名称： 综合日语

回答は答案用紙に書くこと

日本語学の部

一 次の質問に、正しいものを選んで番号で答えなさい (3×5=15 点)

1、「仁和寺」は「にんなじ」、「万葉集」は「まんにようしゅう」のように、「わ」は「な」に、「よう」は「によう」に、音の変化の現象を日本語学では何というか。次のうち、どれか。

(1) 連声 (2) 音添加 (3) イ音便 (4) 連濁

2、「引く音」といって、記号で / R / のように表される日本語の特殊音素は日本語学では、何というか。次のうち、どれか。

(1) 撥音 (2) 拗音 (3) 促音 (4) 長音

3、日本で漢語の造り方に倣って造られた漢語のことを漢語研究では、何というか。次のうち、どれか。

(1) 国語 (2) 新漢語 (3) 国字 (4) 旧漢語

4、「成り金」は「なり+きん」のように読まれるが、このような語の読み方は日本語学では、何というか。次のうち、どれか。

(1) 湯桶読み (2) 重箱読み (3) 訓読み (4) 音読み

5、「刷る」と「擦る」、「成長」と「生長」のような関係をもつ語は日本語学では、何というか。次のうち、どれか。

(1) 同義語 (2) 同形語 (3) 同音類義語 (4) 同音異義語

二、次の質問に答えなさい。(5×5=25 点)

1、「た」「ち」「つ」「て」「と」を、それぞれ、ヘボン式ローマ字と訓令式ローマ字で書

特別提醒：答案必須写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

きなさい。(例:「か」は「ka」のように書く 5点)

2、「五十音図」とは何か説明しなさい。(5点)

3、日本語の「漢語」の特徴について述べなさい。(5点)

4、日本語学では、「位相」とは何か(5点)

5、動詞の分類には、どのような角度があるか。(5点)

三、次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(20点)

芭蕉の「古池やかはづ飛び込む水の音」という句はたいへん有名で、俳句の代表のように見られている。おそらく、この句と作者とを知らない日本の高校生はいないであろう。そして、句に登場する「かはづ(蛙)」がただの一匹であることも、また日本人の常識となっているようである。多分「さび」の精神から見て、蛙は一匹でなければならないと解する通念ができあがっているためであろう。そのためか、英語やフランス語に紹介された場合も、“A frog…”のように単数で訳されてきた。しかし、山村に生活し、蛙などの生態に詳しい人が、この句の伝統的な解釈に疑問を提出した。一匹だけが孤独に棲息していることがない。そして、一匹が水に飛び込むと、まわりの蛙も次々と飛び込むのが習性だというのだ。なるほど、そう言われればそうかもしれないと思う。私自身は、蛙の生態に詳しい方ではなく、また芭蕉の研究者でもない。私がこの問題に興味を覚えるのは、西欧の言語を母語とする者なら、当然、名詞などの単数複数の別を意識するのに、われわれはそういうことに無頓着であるという事実につながるからである。ちなみに、この句の英訳の中では、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)のものだけが蛙を複数にしていることを報告しておこう。

英語には、名詞・代名詞・動詞に関しては、文法上の「数」(number)が存在する。だから、英語で何か事柄を表現するときに、「数」を曖昧にして表すことは制度上許されない。

たとえば、

「昨夜、泥棒が〇〇銀行を襲った」というような事件を報道する場合、当の泥棒が一人

特別提醒：答案必須写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

だったのか、二人以上だったのかが判明していない段階では、英語の名詞の語尾の形や冠詞の有無などに引っかかって、日本語のように簡単な表現ができなくなる。こうして、“A thief or thieves…” というような、念入りではあるが面倒な言い方をしなければならなくなるのである。これこそ、英語に文法上の「数」があるために生じた言語的強制というべきであろう。(もし、この煩瑣な手続きを避けようとするならば、銀行を主語にした受動構文を選ぶことになる。西欧語の文に、受身が多くなる理由の一端がここにある。) われわれは、平素、「数」のシステムのある言語に、何となく精密さのようなものを感じがちであるが、時にはこのような煩わしいこともあるのだ。

このように、英語は、表現の上では、より論理的厳密的であり、これに対して、日本語は、非論理的あまり厳密的でないのだとよく指摘される。

上の文章を踏まえて、次の設問に答えなさい。

問1 筆者が、第一段落で言いたいことは何ですか。(2点)

問2 文中にある「さび」の精神は、どう理解されたらよいか。(3点)

問3 文中にある「昨夜、泥棒が〇〇銀行を襲った」を受動表現に書き換え、元の文と書き換えた文とではニュアンスがどのように変わるかについて述べなさい。(5点)

問4 次の単語の読み方を示せ。漢字「無」の字音は何種類あるか、それぞれの字音は日本語学では、何と言うか。(5点)

無頓着 曖昧 有無 念入り 受身

問5 「古池やかはづ飛び込む水の音」という俳句を中国語で再表現してみなさい。中日両言語では、名詞の「数」の意識には、どのような様子が見られるか述べてみなさい。(5点)

四、次の質問に答えなさい。(15点)

日本語学習上、外来語は難点の一つとされている。その難しさはどこにあるか述べなさい。

特別提醒：答案必须写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

文学の部

一、次の言葉に読み方をつけなさい。(1×10=10点)

永井荷風 田山花袋 北村透谷 葉山嘉樹 言文一致 梶井基次郎 浮雲 掛詞
源氏物語 滝沢馬琴

二、次の内容について、正しいと思うものに“○”を、正しくないと思うものに“×”をつけなさい。(1×10=10点)

- 1、上代の文学は「まこと」の文学とも呼ばれている。
- 2、『古事記』は現存する日本最古の書籍である。
- 3、『古今和歌集』は藤原定家らによって、編集されている。
- 4、『竹取物語』は日本現存最古の歌物語である。
- 5、『雨月物語』は世界最古の長編小説である。
- 6、『平家物語』は諸行無常・盛者必衰の思想を表している。
- 7、明治初期、自由民権運動が広がり、政治小説が流行した。
- 8、雑誌『文学界』は純粋な文学雑誌である。
- 9、葛西善蔵は貧困の中で自己を見つめた『悲しき父』などを書いた。
- 10、太宰治の『山月記』は中国の古典に題材を求めた作品である。

三、次の文学事項を簡単に説明しなさい。(4×5=20点)

- 1、二葉亭四迷 2、森鷗外 3、耽美派 4、新心理主義 5、『源氏物語』

四、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(20点)

はしけはひどく揺れた。踊子はやはり唇をきつと閉じたまま一方を見つめていた。
私が縄梯子につかまろうとして振り返った時、さようならを言おうとしたが、それも
よして、もう一ぺんただうなずいて見せた。はしけが帰って行った。栄吉はさっき私

特別提醒：答案必須写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

がやったばかりの鳥打帽をしきりに振っていた。ずっと遠ざかってから踊子が白いものを振り始めた。

汽船が下田の海を出て伊豆半島の南端がうしろに消えて行くまで、私は欄干にもたれて沖の大島を一心に眺めていた。踊子に別れたのは遠い昔であるような気持ちだった。婆さんはどうしたかと船室をのぞいてみると、もう人々が車座に取り囲んで、いろいろと慰めているらしかった。私は安心して、その隣りの船室にはいった。相模灘は波が高かった。すわっていると、時々左右に倒れた。船員が小さい金だらいを配って回った。私はカバンを枕にして横たわった。頭がからっぽで時間というものを感じなかった。涙がぼろぼろカバンに流れた。頬が冷たいのでカバンを裏返しにしたほどだった。私の横に少年が寝ていた。河津の工場主の息子で入学準備に東京へ行くのだったから、一高の制帽をかぶっている私に好意を感じたらしかった。少し話してから彼は言った。

「何かご不幸でもおありになったのですか。」

「いいえ、今人に別れて来たんです。」

私は非常にすなおに言った。泣いているのを見られても平気だった。私は何も考えていなかった。ただすがすがしい満足の中に静かに眠っているようだった。

海はいつのまに暮れたのかも知らずにいたが、網代や熱海には灯があった。膚が寒く腹がすいた。少年が竹の皮包を開いてくれた。私はそれが人の物であることを忘れたかのように海苔巻のすしなぞを食った。そして少年の学生マントの中にもぐり込んだ。私はどんなに親切にされても、それを大変自然に受け入れられるような美しい空虚な気持ちだった。明日の朝早く婆さんを上野駅へ連れて行って水戸まで切符を買ってやるのも、至極あたりまえのことだと思っていた。何もかもが一つに溶け合っ感じられた。

船室の洋燈が消えてしまった。船に積んだ生魚と潮のにおいが強くなった。まっくらななかで少年の体温に温まりながら、私は涙を出任せにしていた。頭が澄んだ水に

特別提醒：答案必須写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

なっていて、それがぼろぼろ零れ、そのあとには何も残らないような甘い快さだった。

問1、この作品の題名及び作者名を書きなさい。(2点)

問2、この作者が所属する文学流派は何の流派なのか、その特徴を述べなさい。(4点)

問3、文中に「さようならを言おうとした」という一文の動作主は誰なのか。(2点)

問4、次の言葉に読み方を付けなさい。欄干 慰め 空虚 至極 (4点)

問5、文中に「涙がぼろぼろカバンに流れた」という表現があるが、その「涙」は「私」のどんな気持ちを表しているか。理由をつけて説明しなさい。(4点)

問6、文章の最後に「私は涙を出任せにしていた」という表現があるが、この場合の「涙」について、どう理解すればよいか。理由をつけて説明しなさい。(4点)

五、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(15点)

山路を登りながら、こう考えた。

智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とにかく人の世は住みにくい。住みにくさが高じると、安い所へ引き越したくなる。どこへ越しても住みにくいと悟った時、詩が生れて、画が出来る。

人の世を作ったものは神でもなければ鬼でもない。やはり向う三軒両隣りにちらちらするただの人である。ただの人が作った人の世が住みにくいからとて、越す国はあるまい。あれば人でなしの国へ行くばかりだ。人でなしの国は人の世よりもなお住みにくかろう。

(中略)

うれしい事に東洋の詩歌はそこを解脱したのがある。採菊東籬下、悠然見南山。ただそれぎりの裏に暑苦しい世の中をまるで忘れた光景が出てくる。垣の向うに隣の娘が覗いてる訳でもなければ、南山に親友が奉職している次第でもない。超然と出世間的に利害損得の汗を流し去った心持ちになれる。独坐幽篁裏、弹琴復长嘯、深林人

特別提醒：答案必須写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。

不知、明月来相照。ただ二十字のうちに優に別乾坤を建立している。(中略) 余は固より詩人を職業にしておらんから、王維や淵明の境界を今の世に布教して広げようと云う心掛も何もない。ただ自分にはこう云う感興が演芸会よりも舞踏会よりも葉になるように思われる。ファウストよりも、ハムレットよりもありがたく考えられる。こうやって、ただ一人絵の具箱と三脚几を担いで春の山路をのそのそあるくのも全くこれがためである。淵明、王維の詩境を直接に自然から吸収して、すこしの間でも非人情の天地に逍遥したいからの願。一つの酔興だ。

問 1、上の文章は夏目漱石のある小説の冒頭部分であるが、この小説の題名を書きなさい。(1点)

問 2、上の文章にある言葉「非人情」について、文章の内容に基づいて説明しなさい。(3点)

問 3、夏目漱石が所属する余裕派の特徴を説明しなさい。(4点)

問 4、中日文学の関係についての理解を述べなさい。(具体的な例を挙げて説明すること)(7点)

特别提醒：答案必须写在答题纸上，若写在试卷或草稿纸上无效。